

	1	2	③	4
学習の展開と学習活動	挑戦課題森の中で体力を高めることができるかどうか 1 問いを共有し、遊具を使って遊びながら、体力要素を知る。 問い ○○で遊ぶと、どんな力が高まるかな？ タイヤ  両足で 丸太渡り  手を使わずに 綱渡り  手だけで ジャングルジム  手のひらと足の裏以外が当たらずに すべり台  ・座って片足で ・手だけで上がる 2 行い方と体力要素の関係を共有する。 ・柔らかさ ・巧みさ ・力強さ ・持続 3 行い方を変えて、遊具で遊ぶ。 4 まとめをする。 5 振り返りをする。			
	1 問いを共有する。 問い 体力を高めるには、どのように遊べばよいかな？ 2 体力要素を意識して、森の中で遊ぶ。 ○ 自然を使って 根  ○ ものを使って ・張り巡らせたゴム 坂  ・杭 木  ・ロープ トーテムポール  ・丸太 広場  ・ストップウォッチ 3 行い方と体力要素の関係を共有する。 4 共有した内容を生かしてもう一度遊ぶ。 5 まとめをする。 6 振り返りをする。			
	【追究のための手がかり】 ・体の動かし方 ・行い方 ・体力要素（柔らかさ、巧みさ、力強さ、持続）			
	学びの姿 ・ 遊具で遊んだり、行い方を工夫したりする中で、体の動かし方をもとに、どんな力が高まるのかを試行錯誤する。			
	主な教師の支援 ・ 遊具を使った遊びと体力要素を結びつけることを課題とすることで、体の動かし方を意識しながら運動に取り組むことができるようにする。 ・ 遊びの中から感じた体力要素を教師がカテゴライズすることで、知識として習得することができるようにする。 ・ 教師が行い方の工夫を助言したり、子どもたちの工夫を取り上げて広めたりすることで、多様な体の動かし方を意識することができるようにする。			
計画評価	ア・サ イ・カ・キ・サ			

